

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		フィルム・コミッション				所管	文化産業観光部 観光課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	170	計画事業名	フィルム・コミッション	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 37 多彩な観光魅力の創出				[事業開始]	平成16年度			
						[終了予定]	- 年度			
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	フィルム・コミッション事業支援実施要綱						
	事業対象	直接の対象 : 映像等の制作者 最終的な対象 : 映像媒体の視聴者や読者、閲覧者								
	事業目的	フィルム・コミッション事業を推進することにより、マスメディアの発信力を活用し台東区の魅力を国内外にアピールすることで、文化・産業・観光の振興を促進し地域経済の活性化を図る。								
	事業内容 [H30年度]	映画、テレビドラマなどの撮影が円滑に進むよう、撮影の立ち会いや関係各所との折衝、撮影に必要な許可に関する情報提供など、制作会社に対して様々なサービスを提供しサポートする。 ○相談作品数 1,180件(うち海外85件)、支援作品数 394件(うち海外63件)								
委託の有無	一部委託	委託内容	フィルム・コミッション支援業務委託							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	フィルム・コミッション支援作品数	件	400	333	386	394	340	115.9%	
		フィルム・コミッション相談作品数	件	1,250	1,141	1,151	1,180	1,250	94.4%	
	成果指標	ホームページのページビュー数	PV	65,000	48,986	58,273	69,191	65,000	106.4%	
	決算額 (単位:千円)			H28年度		H29年度		H30年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			6,242		4,190		3,527	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			18,712		20,077		17,996	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0	
		総経費			24,954		24,267		21,523	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0	
一般財源(区負担額)				24,954		24,267		21,523		
課題及び今後の進め方	世界中のメディアが集まる東京2020大会の開催は、本区の撮影資源をPRする絶好の機会であるが、今後は大会終了後を見据え、本区の魅力を継続的に発信し効果的な観光客の誘致を図っていく必要があるため、海外メディア関係者との関係づくりや様々な撮影需要に応える新たなロケ地の開拓を検討する必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	撮影場所の需要として、民間施設や区有施設等を横断的に使用する希望が多く、民間事業者がこれらの相談・支援に個別に対応することは難しいため、区が窓口となり実施する必要がある。							
	効率性	3	情報発信媒体が多様化する中でも、本区への海外からの撮影相談は増加している。それらを撮影支援に結び付け、国内外の幅広い層に番組が視聴・閲覧されており、本区の魅力を効果的に発信できている。							
	手段の適切性	3	深夜や早朝の撮影も多く、また、海外の撮影隊に英語で指示等する必要があるため、英語対応可能なスタッフを配置できる事業者に委託することで、柔軟な運営が可能となっている。さらに、東京都と連携し海外で開催される映画祭に海外制作者向けの宣伝資料を配布するなど、本区の撮影資源を広くPRできている。							
目的達成度	4	相談件数は目標値に届かなかったが、支援件数は昨年度に引き続き目標値を大きく上回った。これまでに培ったロケ地との関係や積み重ねた経験により、様々な撮影需要に対応が可能となり、相談件数に比して支援に結びつけられる案件が増加していることが要因と考えられ、事業の目的は達成されている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
支援作品数は平成28年度以降大きく増加しており、撮影資源としての本区の魅力を国内外に広く発信するとともに、英語対応での撮影支援に取り組むなど、撮影受入体制を整備し充実させてきた成果と考えられる。近年、海外からの撮影相談が増加する中、こうした取り組みを継続することで、海外での本区の認知度を更に高め、効果的な観光客誘致につなげていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		